

【重点審議事項の論点整理について（厚生・産業常任委員会）】

重点審議事項	委員会における取組状況	主な論点	委員会における主な意見	備考
<p>医療福祉施策、高齢者施策の推進について</p>	<p>平成26年5月14日 常任委員会 ・平成26年度中に策定、変更が予定されている計画等について</p> <p>平成26年8月7日 常任委員会 ・レイカディア滋賀プランの策定について ・リハビリテーション推進計画の策定について</p> <p>平成26年10月3日 常任委員会 ・「レイカディア滋賀プラン」骨子案について</p> <p>平成26年12月19日 常任委員会 ・「レイカディア滋賀 高齢者福祉プラン」原案について</p> <p>平成27年2月10日 常任委員会 ・レイカディア滋賀高齢者福祉プラン（原案）に対して提出された意見・情報とそれらに対する滋賀県の考え方について ・滋賀県リハビリテーション推進計画（案）について</p> <p>平成27年3月6日 常任委員会 ・レイカディア滋賀高齢者福祉プラン（案）について ・滋賀県リハビリテーション推進計画（案）について ・一般所管事項「重点審議事項の論点整理」について</p>	<p>2025年問題を見据えた在宅医療、リハビリテーション等の医療福祉施策の推進を図るための計画の策定</p>	<p>【レイカディア滋賀高齢者福祉プランの策定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・超高齢化社会を迎えるに当たって、在宅医療、介護を充実させていくことは理想だが、それには施設整備とあわせて訪問医療の医師、介護士等のマンパワーを十分に確保しないと現実問題としてうまくいかないのでは、その辺を具体的に踏まえた計画にしてほしい。 ・平成27年から29年の3カ年計画であるが、2025年問題を踏まえたときに、その目標に向かってこの3年間で、全体的なものを把握して10年後に結びつくようなことを具体的にやらないといけない。 ・介護職員の確保、育成、定着が計画にうたわれているが、安心して働ける手だてをしていかないとできないのではないかと。また、介護報酬の処遇改善についても国にもしっかりと提案していただきたい。 ・もっと福祉の仕事に対する理解をしてもらうよう学校教育の中でもきちんと説明していく必要がある。 ・今後、介護保険料を払えないなどのさまざまな問題が起こる可能性があるため、まずは健康寿命の延伸や予防を柱の中心にして、そのためにどうしていくのかという取り組みが重要である。 ・介護職員の処遇改善について県としてできることがあれば、より適切に実施されるように、工夫をしていただきたい。 	<p>平成27年3月に「レイカディア滋賀高齢者福祉プラン」、「滋賀県リハビリテーション推進計画」策定</p>

	<p>※県内行政調査 平成 26 年 7 月 22 日 弓削メディカルクリニック ・在宅医療の取り組み状況等について</p> <p>※県外行政調査 平成 26 年 11 月 4 日 宮城県涌谷町町民医療福祉センター ・地域包括ケアシステムの概要等について</p>		<p>【リハビリテーション推進計画の策定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リハビリは地域での体制が重要であり、県と市町が同時進行で計画を策定していく必要があるため、十分連携して、常に情報を共有して進めていってほしい。 ・地域包括ケアシステムは 2025 年を目指してやろうとしているが、その構築のためには市町と一体的にやる必要があるのではないか。 ・制度を利用する人がよくわからないことが多いように思う。これは医療でこれは介護という辺のつながりがきちんとできていないのではないか。 ・2025 年を見据えた計画とのことであるが、現に今、リハビリが必要な人がたくさんおられる中で、理想論だけでなく、速やかに具体的に予算をつけて行政としてのアクションを起こしていかないと県民は納得しないのではないか。 ・2025 年に向かって、大変大事なリハビリテーションの推進体制となるので、間違いのないように計画的に進めていただきたい。 	
--	---	--	--	--

重点審議事項	委員会における取組状況	主な論点	委員会における主な意見	備考
<p>児童虐待の未然防止、早期発見・早期対策に向けた施策の推進について</p>	<p>平成26年5月14日 常任委員会 ・平成26年度中に策定、変更が予定されている計画等について</p> <p>平成26年8月7日 常任委員会 ・平成25年度滋賀県における児童虐待相談件数等の状況について</p> <p>平成26年9月10日 常任委員会 ・子ども家庭相談センター整備計画案について</p> <p>平成26年10月3日 常任委員会 ・「滋賀県児童虐待防止計画」骨子案について</p> <p>平成26年12月19日 常任委員会 ・「次期滋賀県児童虐待防止計画」原案について</p> <p>平成27年2月10日 常任委員会 ・次期滋賀県児童虐待防止計画（原案）に対して提出された意見・情報とそれらに対する滋賀県の考え方について</p> <p>平成27年3月6日 常任委員会 ・次期滋賀県児童虐待防止計画（案）について ・一般所管事項「重点審議事項の論点整理」について</p> <p>※県外行政調査 平成26年11月5日 群馬県中央児童相談所 ・児童相談所の整備体制等について</p>	<p>子ども家庭相談機能の強化および次期児童虐待防止計画の策定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待の通告については、今潜在化しているものをもっと顕在化を図るようにしたら、もっといろいろな対応をとれるのではないか。 ・子ども家庭相談センターの増設について、喫緊の課題であるためにできるだけ早期に対応していくとのことだが、既存施設の改修であるなら、開設予定をもっと早く対応するべきではないか。 ・現状よりも虐待の通報をきちんと吸い上げる手だてとか告知もしていけないと、児童虐待の事案が起きるところでは、せっかく立派な計画があっても目にされることはずがないと思う。 ・虐待を受けた子供さんには養育里親のほうがよいという話も聞くと、もっと全国的にあるべき姿としてその方向に向かえばいいと思っており、滋賀県は全国平均より高いというものの、一生懸命頑張っていたきたい。 ・現実に虐待事例が起きていて、計画で立派なことが書いてあっても、実際はそれとかけ離れているように思うので、児童の心に傷のいかないように市町との連携も密にして速やかな対処をしてもらいたい。 ・幼児だと地域の医療機関だと思うが、小学生になると保健室からの連絡で虐待事例に気づくことも多いと思うので、学校のほうとの連携も大事ではないか。 ・施設から退所されてから社会にうまく溶け込めないということを結構聞かすが、退所後の自立に向けた就労や社会生活を支援する仕組みづくりがポイントだと思うので、しっかり取り組んでももらいたい。 	<p>子ども家庭相談センター増設経費の予算化 (設計、工事)</p> <p>平成27年3月に「次期滋賀県児童虐待防止計画」策定</p>

重点審議事項	委員会における取組状況	主な論点	委員会における主な意見	備考
<p>滋賀県産業振興ビジョン（仮称）の策定と中小企業活性化の着実な推進について</p>	<p>平成26年5月14日 常任委員会 ・平成26年度中に策定、変更が予定されている計画等について</p> <p>平成26年8月7日 常任委員会 ・「滋賀の“ちいさな企業”応援月間」について</p> <p>平成26年9月10日 常任委員会 ・滋賀県産業振興ビジョン（仮称）素案について</p> <p>平成26年10月6日 常任委員会 ・滋賀県産業振興ビジョン（仮称）原案について ・平成25年度滋賀県中小企業活性化施策実施計画の検証について</p> <p>平成26年11月25日 常任委員会 ・滋賀県産業振興ビジョン（仮称）原案に対して提出された意見・情報とそれらに対する滋賀県の考え方について</p> <p>平成26年12月19日 常任委員会 ・滋賀県産業振興ビジョンの策定状況について ・「滋賀の“ちいさな企業”応援月間」の実施結果について</p> <p>平成27年3月9日 常任委員会 ・議第61号 滋賀県産業振興ビジョンの策定につき議決を求めることについて ・平成27年度滋賀県中小企業活性化施策実施計画（案）について ・一般所管事項「重点審議事項の論点整理」について</p>	<p>中小企業の活性化の推進に関する条例に基づく施策展開も踏まえた実効性のある産業振興ビジョンの策定</p>	<p>【計画の内容、実効性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業界は日々変化しており、中小企業の皆さんが現状で大変困っておられることについて、適宜適切に処置をしていくことが、中小企業の活性化の推進に関する条例でうたう振興になり、振興ビジョンの実効性が高まっていくということではないか。 ・人口減少や超高齢化などのこれからの大きな問題を迎える中で滋賀らしい産業・雇用の創造を図るためには、大きな総論的な話でなく、例えば水環境ビジネスなど滋賀県のポテンシャルを生かすための明確な指針がある程度打ち出していく必要があるのではないか。 ・滋賀県の特徴は製造業であり、これからも伸ばしていく必要がある。そういう製造業が県内に入ってきて、県内雇用につながることでないといけない。 ・県内だけでなく日本中をリサーチして、県内に今ないものでよいものを発掘するといった視点が足りないのではないか。 ・地域経済の活性化と雇用の創出、関連産業の振興を図るとあるが、今後どう推進し、目標を達成していくのかイメージできないので具体的に示してほしい。 ・企業誘致の記述を見ていると従来の右肩上がりの発展を目指しているような感じもするが、人にしても用地にしても、かなり今までとは違う状況にあるので十分それに配慮したものになるようにお願いしたい。 ・これからの10年の計画の中で地域をいかに伸ばしていくかということが必要になってくるので、このことを頭に入れて進めてほしい。 	<p>平成27年3月に「滋賀県産業振興ビジョン」策定</p>

	<p>※県内行政調査 平成 26 年 7 月 22 日 滋賀県工業技術総合センター ・ 県内企業への技術支援、共同研究の状況等について</p> <p>※県外行政調査 平成 26 年 11 月 6 日 群馬県議会 ・ 次世代産業振興戦略等について</p>		<p>【中小企業の活性化等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内の賃金も必ずしも上昇しているとは言えないので、いろいろな視点を駆使しながら県内企業の皆さんが実感できるようなビジョンとなるよう取り組んでいただきたい。 ・ 産業界や経済界の意見をよく聞いてビジョンの内容に反映させるようお願いしたい。 ・ 中小企業活性化施策の実施について、企業が望んでおられることを適宜、適切にサポートしていくことが大事であり、来年以降もっと具体的にその成果が様々な指標にあらわれてくることを期待したい。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 再生可能エネルギーの導入促進とあるが、電気代が高騰している中、現状では限度があり国がエネルギー施策を推進していくべきで、果たして県としてここまでしていく必要があるのか。 ・ 産業振興とエネルギー問題は表裏一体であるので、県全体の産業での総電力使用量と県の目指す再生可能エネルギーの導入目標をきちんと精査して、ビジョンの中で整合性を持たせて県民や産業界に発信してもらう必要がある。 ・ 国の地方創生と大いに関係してくるし、市町との連携の中で具体的に企業の立地とか、ブランド力を高めるとか、いろいろ特色を持たせてやっていくことが必要である。 	
--	--	--	---	--

重点審議事項	委員会における取組状況	主な論点	委員会における主な意見	備考
<p>第三次滋賀県立病院中期計画の見直しについて</p>	<p>平成 26 年 5 月 14 日 常任委員会 ・平成 26 年度中に策定、変更が予定されている計画等について</p> <p>平成 26 年 12 月 19 日 常任委員会 ・第三次滋賀県立病院中期計画の中間見直し（案）について</p> <p>平成 27 年 3 月 6 日 常任委員会 ・第三次滋賀県立病院中期計画の中間見直し（案）について ・一般所管事項「重点審議事項の論点整理」について</p> <p>※県外行政調査 平成 26 年 11 月 5 日 宮城県立こども病院 ・病院の概要と業務内容等について</p> <p>※県内行政調査 平成 26 年 11 月 25 日 滋賀県立精神医療センター ・医療観察法病棟の開棟後の運営状況等について</p>	<p>新たな重点プロジェクトも盛り込んだ計画の見直しについて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・聴覚・コミュニケーション医療センターの整備や全県型医療の推進などは大変大きな話であり、今後、具体的な目標を定めて、マンパワー等も含め戦略的に進めていく必要があるのではないか。 ・今回の計画の見直しの中で、聴覚・コミュニケーション医療センター事業や放射線治療支援体制構築事業を重点プロジェクトとして追加されるということであるが、今後は当初から想定できる事項は当初の計画に盛り込んでおいて、年度ごとに実施計画で見直しするなどの対応をしてほしい。 ・2025 年問題を見据えて、それを乗り越えるための重要な計画となることから、国の流れも大事であるが、滋賀県固有の課題をしっかりと踏まえた計画となるようにお願いしたい。 ・医療機器の共同利用については、周辺の医療機関と重ならないように導入前に相談するなど連携をとるべきである。 ・ハード面、ソフト面、高齢化、患者などのさまざまな変化を加味して、2025 年問題をこうして乗り越えていくというような、大きな全体のこの 10 年の流れを計画の中に示される必要がある。 	<p>平成 27 年 3 月に「第三次滋賀県立病院中期計画（H27.3 月改定版）」策定</p>